

科研費研究プロジェクト【部門B】
平成29年度 第1回研究会報告

まちづくりにおける「飯田モデル」の検証
—地域自治組織の導入前後における「自治の質量」の変化の観点から—

荻野亮吾

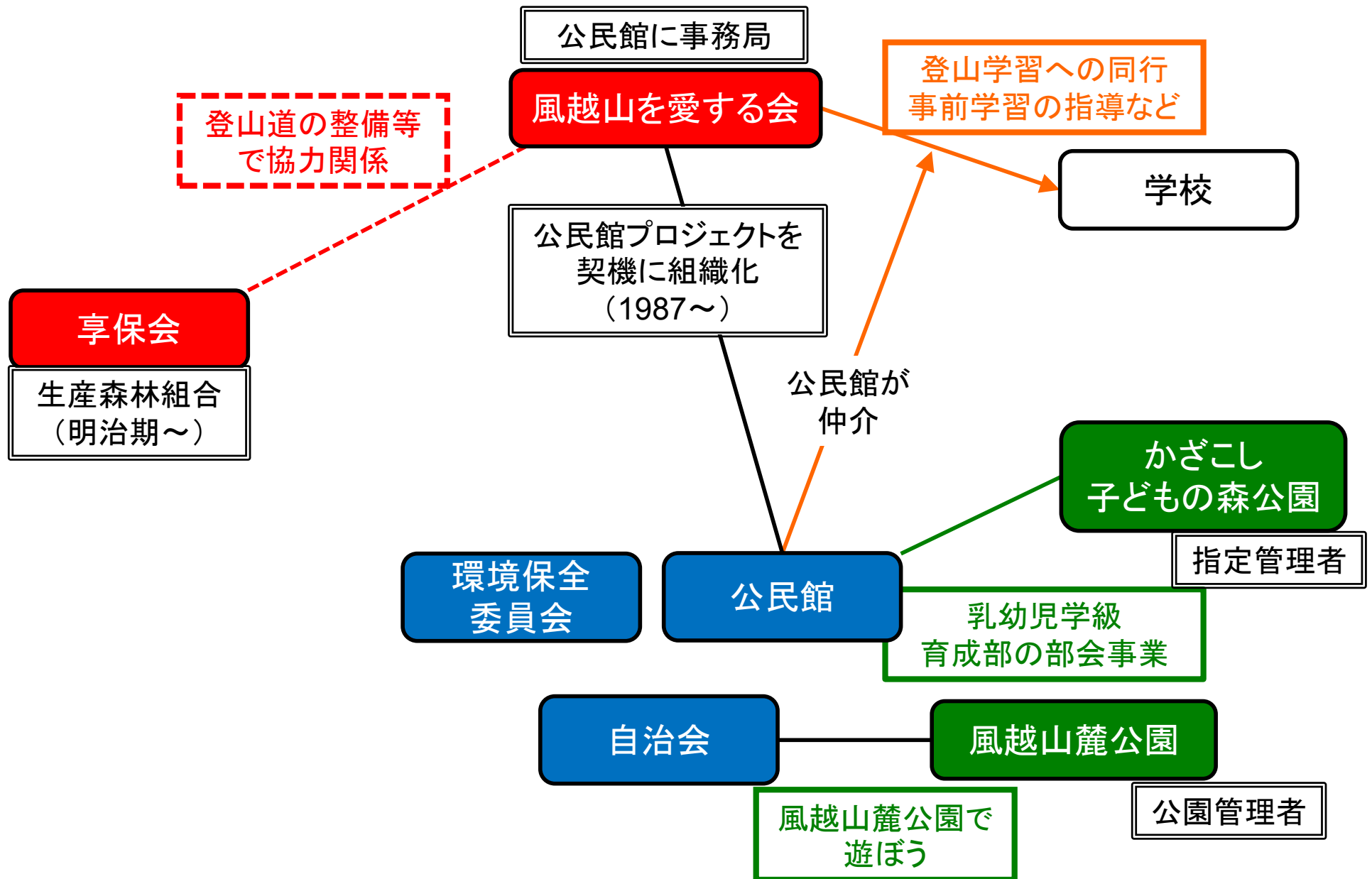
(東京大学 高齢社会総合研究機構)

ryogoogi@iog.u-tokyo.ac.jp

2017年5月30日(火)
京都大学 吉田キャンパス
法経東館 8F リフレッシュルーム

まちづくり委員会と関連団体の関係性

●丸山地区における風越山を巡る地域の「関係性」(1)●



●丸山地区における風越山を巡る地域の「関係性」(1)●

「風越山」という地域資源を維持する活動

風越山を愛する会

公民館の風越山のイラストマップ作成のプロジェクトから生まれた組織。

年間6回の清掃登山に加え、日常的な状況把握を行なっている。

事務局が公民館に置かれていることで、活動への信頼につながっている。

享保会(生産森林組合)

山林の保全が活動の中心。市の観光課やスポーツ課の委託を受けて、登山道の整備を行う。

享保会・「愛する会」との役割分担

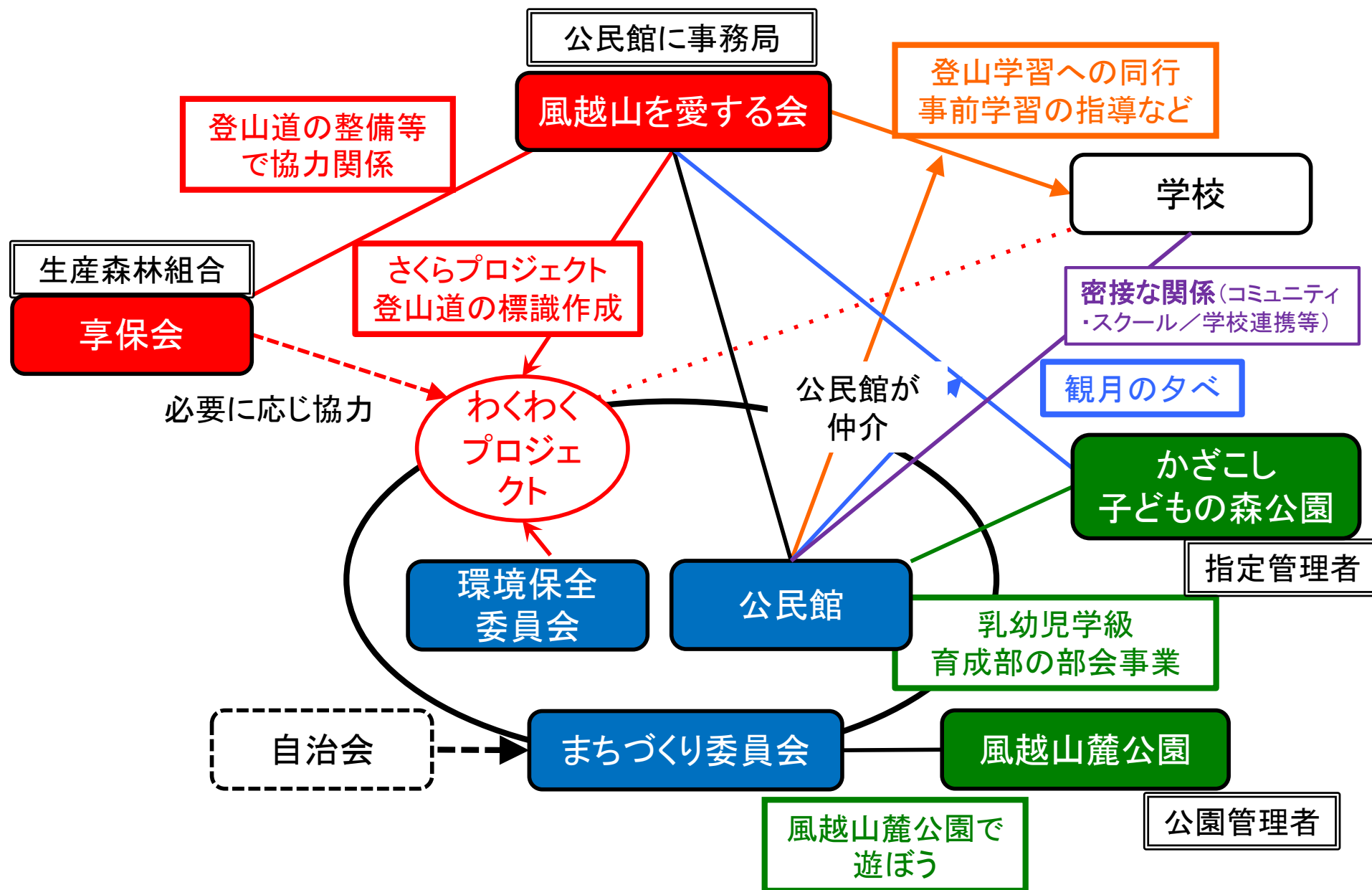
「風越山」という資源を活用した学習・交流の活動

公民館が仲介する形で、地域の各機関・団体を結びつけ、風越山を舞台にした学習・交流活動が行われてきた。

学校の登山学習への同行や事前学習の指導。かざこし子どもの森公園と連携した事業等。

自治会は、風越山麓公園の管理者と「風越山麓公園で遊ぼう」という事業を連携して実施。

●丸山地区における風越山を巡る地域の「関係性」(2)●



●丸山地区における風越山を巡る地域の「関係性」(2)●

地域自治組織の導入

2007年4月 丸山地区にまちづくり委員会が導入される。

2015年3月 2年間かけて、丸山地区の基本構想・基本計画を策定。

2015年度～ 基本構想策定の中で、自然資源を活かす事業に取り組むことになる。

ムトス助成金を得て、「風越山麓わくわくプロジェクト」が開始される。

(シンボルとなる花木の選定、ヤマザクラの育苗・植栽プロジェクト等)

プロジェクト推進は、まちづくり委員会内の環境保全委員会が担当してきた。

(2017.2.16.に、プロジェクト組織が発足)

地域資源を維持する活動の「関係性」の変化

「風越山を愛する会」は、まちづくり委員会ができてから活動の幅が広がる。

(例)さくらプロジェクトへの協力(育苗・植栽の活動、登山道の標識の設置等)。

享保会は、まちづくり委員会から協力を頼まれれば協力するスタンス。

(自治振興センター長は、関係構築に意欲的)

地域資源を活用した学習・交流活動の「関係性」の変化

公民館の役割: 公民館を通じ、学校(幼保小中)から「風越山を愛する会」へと、学習に関する依頼が年間10回程度行われている。学校との連携がより緊密になる。

「観月の夕べ」: 当初、「愛する会」の主催。2015年度から「愛する会」・公民館・かざこし子どもの森公園の3者が主催、まちづくり委員会・享保会が後援する実行委員会形式になる。

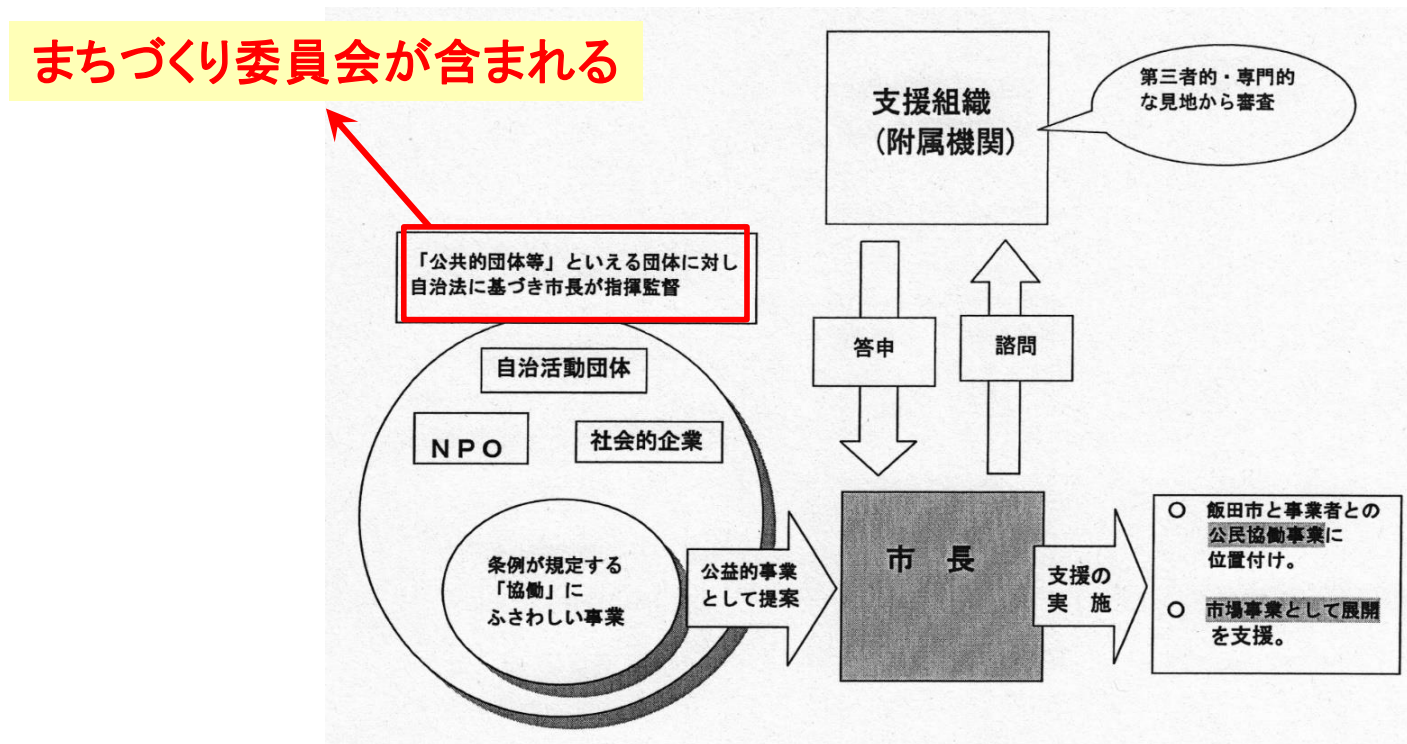
●地方自治体による再エネ条例の類型●

方向性	理念条例	滋賀県湖南町、鳥取県日南町、高知県土佐清水市、兵庫県洲本市、愛知県新城市
	再エネ基本計画の策定等	神奈川県、佐賀県唐津市、大阪府大阪市、神奈川県鎌倉市
支援	公共施設屋根貸し推進	愛知県多治見市、愛知県設楽町
	再エネ基金の設置	青森県、岩手県、秋田県、香川県、山梨県、岐阜県、山形県、大阪府、千葉県、熊本県西原村など
	固定資産税の免除	群馬県榛東村、北海道東神楽町
規制	規制条例	由布市(景観保全)

【出所】丸山康司・西城戸誠・本巢芽美編著(2015)『再生可能エネルギーのリスクとガバナンス』ミネルヴァ書房、160～164ページをもとに作成。

●長野県飯田市における再エネ条例のポイント●

- ① 条例における**地域環境権**の設定
- ② 再エネビジネスが条例の精神に沿っているかを審査(**再生可能エネルギー導入支援審査会**)し、認定事業を基金等で積極的に支援。
- ③ 市の自治基本条例に基づいて、市との協働事業として進めるために、**協力する公共的団体等(法人格の有無は問わない)を含んだ提案を要望。**

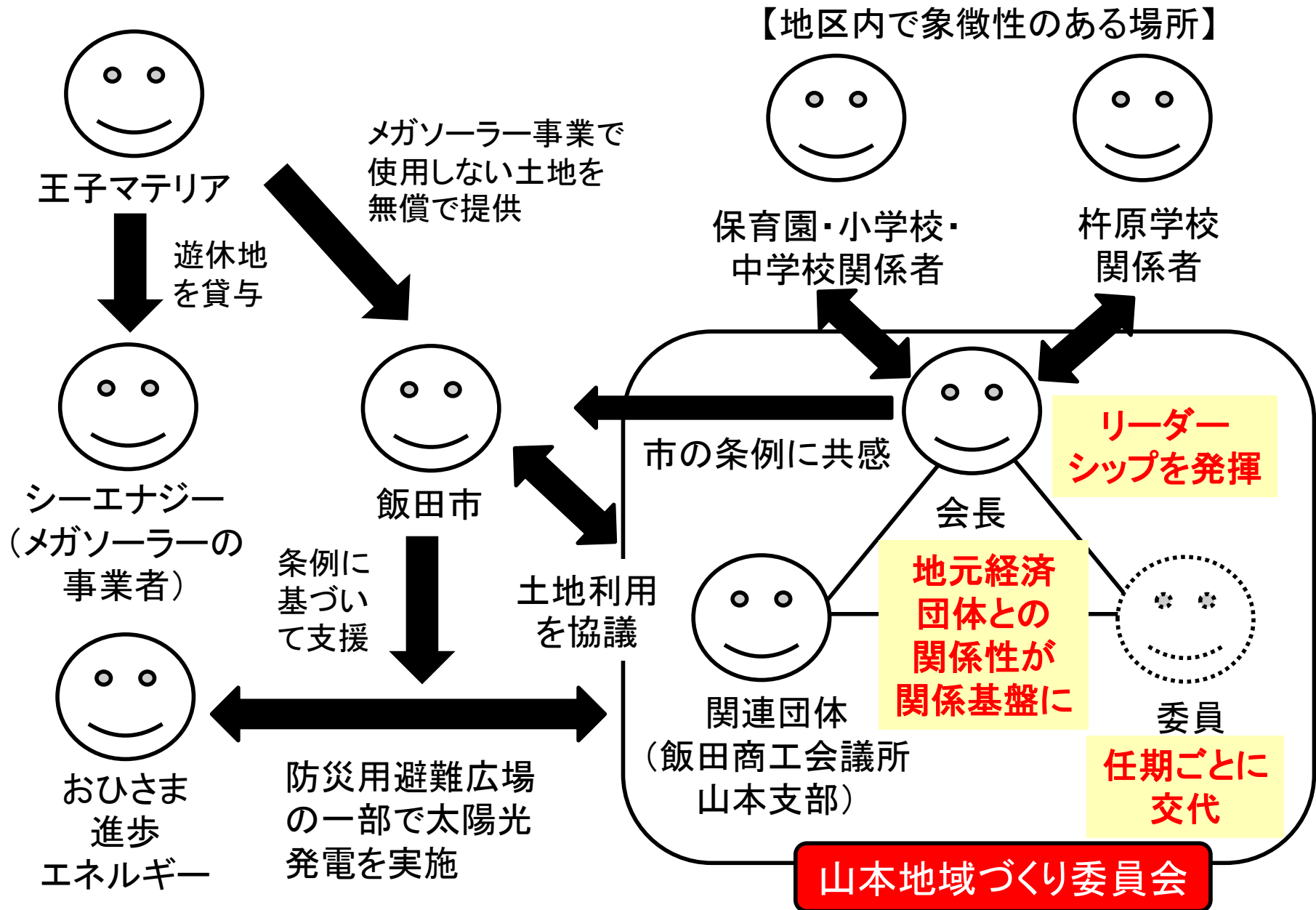


【出所】飯田市提供資料より転載。

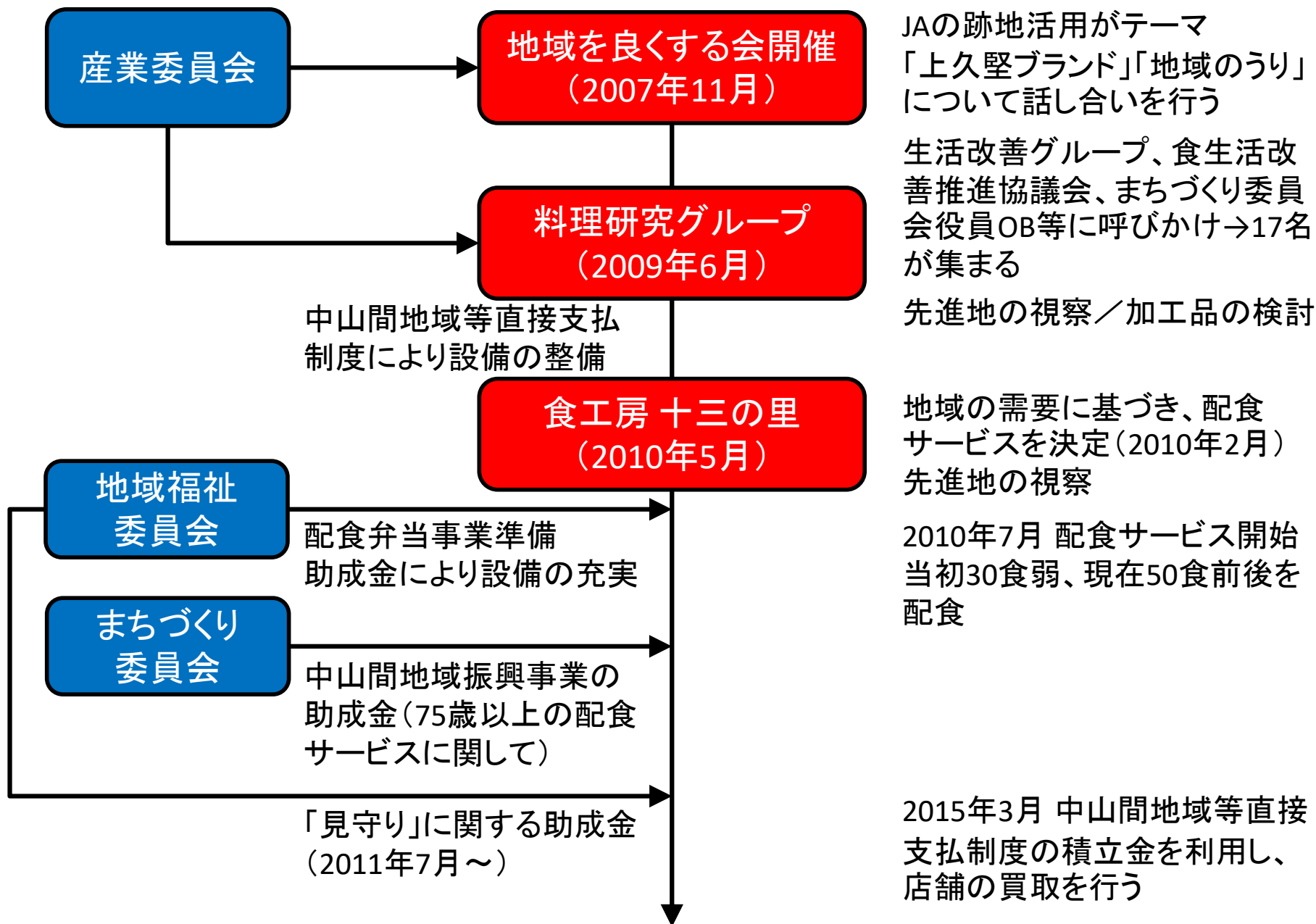
●山本地域づくり委員会における 再生可能エネルギー条例に基づく太陽光発電の普及●

認定番号	認定日	事業名	協力する公共的団体等	おひさま 進歩の関与
1	H26.6.25	駄科区メガさんぽおひさま 発電プロジェクト2013	駄科区	○
2	H26.10.31	山本おひさま広場整備事業	山本地域づくり委員会	○
3	H26.12.19	杵原学校多目的ホール太陽光 発電設備設置事業	山本地域づくり委員会	○
4	H27.2.24	丘づくり・市民共同発電プロジェ クト2014	竜丘地域自治会(まちづくり委 員会)	
5	H27.3.17	久米会館・さくら保育園久米分園 太陽光発電設備設置事業	久米区会	○
6	H27.3.27	龍江四区コミュニティ消防セン ター太陽光発電設備設置事業	龍江四区地域づくり委員会	
7	H27.3.27	今田人形の館太陽光発電設備 設置事業	今田人形の館運営委員会	○
8	H27.12.12	飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発 電設備設置事業	旭ヶ丘中学校太陽光発電推進 協議会(伊賀良まちづくり協議 会、山本まちづくり委員会等)	○
9	H29.2.22	花の木山本小学校太陽光発電 事業	山本地域づくり委員会、 山本小学校、PTA等	○

●山本地区における太陽光発電の普及をめぐる関係性●



●上久堅地区における「食工房 十三の里」の活動の沿革●



●上久堅地区における「食工房 十三の里」の活動の考察●

活動の背景：人材育成サイクルと地区計画

人材育成：地域に、**公民館活動の大事さ**が根付いている。公民館活動を通じ「**気構えができる**」。若い時に**公民館活動を経験することが基本になり、地域の委員会の委員を務め、自治会のポストへという流れがあった。**

地区計画：「**鎮守の杜構想・十三（とさ）の郷づくり**」：1980年代後半に、13集落それぞれで、①**シンボルとなる花木の選定**、②**自主的実践グループの立ち上げ**、③**集落単位での行動計画の立案**、を行った。

活動の実現要因：まちづくり委員会による過不足ない支援

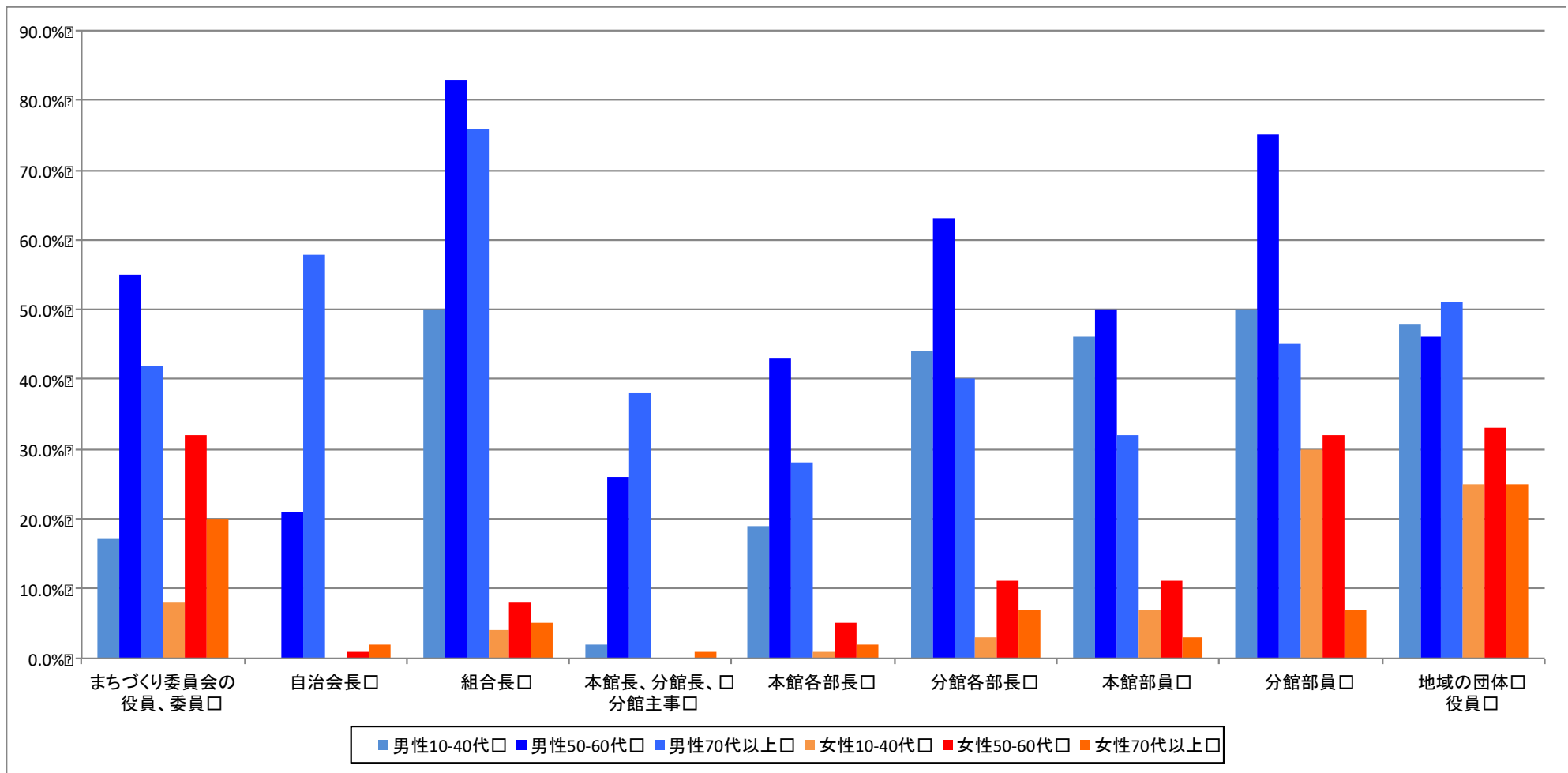
活動の呼びかけ、組織の立ち上げ時の**ノウハウの伝達**、配食サービス行う際の**ノウハウの伝達**、施設整備や事業への**財政支援**など、組織の活動が軌道に乗るまでの**組織的・財政的支援**。

活動の意義：女性の新たな活動の場の構築

市内の他地区と同様、女性は男性に比べ、**地域の役員経験者が経験を活かす場が少なくなる傾向**にある。（次頁参照）。

既存の地域での関係性をもとにして、女性の知識や経験を活かせる新たな活動を立ち上げた意味が大きい。

● (参考) 飯田市内の千代地区における役員の経験率 ●



出所: 荻野亮吾(2016)「地域の活動はどのように関連しているのか? : 団体所属と役員経験の分析」
 東京大学大学院教育学研究科社会教育学・生涯学習論研究室飯田市社会教育調査チーム「地域社会への参加と公民館活動: 飯田市の千代・東野地区におけるアンケート調査の分析から」pp.80-93.

●各地区の活動から得られる示唆と今後の可能性●

丸山地区：風越山麓わくわくプロジェクト

概要

基本構想・基本計画策定、わくわくプロジェクトを契機に、**地域の団体・機関の関係性が緊密**になり、保全活動・学習活動が活発化。

課題

新たなプロジェクト型組織が、共通の目標に向かって連携して活動を行うためのプラットフォームになり得るか？

山本地区：再生可能エネルギー事業の展開

概要

地元経済団体との関係性を関係基盤に地域づくり委員会会長のリーダーシップにより、地区内の複数施設に太陽光発電を普及。

課題

地域づくり委員会会長の交代を機に取組の継続性が保てるか？

上久堅地区：食工房 十三の里の取組

概要

地域資源と地域の関係性を活用し、配食や見守り等、地域の生活向上に資する活動を実現。女性の地域活動のモデルを提示。

課題

現在の活動を基盤に、地域の他の団体(まちづくり委員会等)とも連携して、その他の活動(サロンや交流活動等)を展開できるか？

橋渡し組織としての
地区公民館と自治振興センターの役割

●既存調査で明らかになった公民館の役割●

人材育成の観点から見た公民館の特徴（上郷・鼎・龍江調査）

分館組織

地域の団体活動（壮年団・消防団・婦人会・PTA等）を通じて形成された人間関係が、分館役員（分館長、分館主事、各部の部長等）の選出に活かされる。

専門委員会

地区公民館役員や各部の部員を、分館の役員・部長が兼ねる。

公民館主事

地区公民館で専門委員会の部員と活動をすることで、住民が地域活動の中で得た経験や知識、社会的ネットワークを活用できる。「住民に巻き込まれ」「地域で育てられる主事」。

地域の活動の中での公民館の位置（東野・千代調査）

地域の役の構造

地域の役は、年齢や性別に応じて役割が割り当てられている。責任が重い役では、一定の年齢や社会的経験が求められる。男性に比べ、女性は地域の中核的な役を担うことが少ない。地域の団体活動から分館活動、地区公民館の活動、そして自治会やまちづくり委員会などの地域の中核的な活動へと段階的に関わっていく構造が存在する。

飯田市における公民館を通じた
人材育成のモデル図

各地区から役員を選任

地区公民館

広報部 文化部

分館

広報部

体育部

体育部

公民館主事

文化部

各種団体

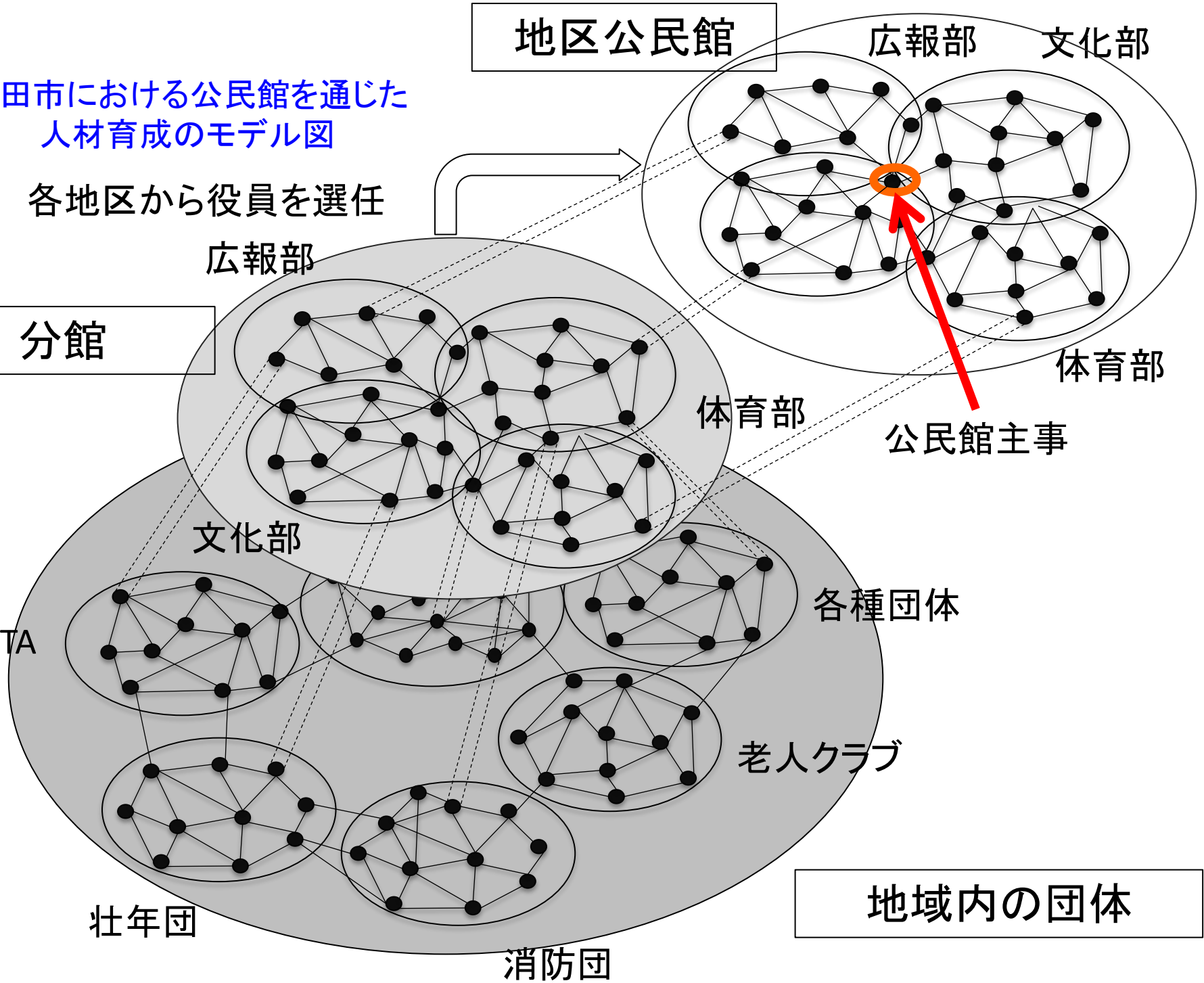
PTA

老人クラブ

壮年団

消防団

地域内の団体



●各地区の調査から見えてきた公民館の役割●

地域課題をテーマに、学習を進める役割

山本

山本学講座：地域のことをより深く知るため、舞台を杵原として、山本の歴史や文化、地区と外部とのつながりについて学ぶ講座。応援団と公民館とが連携して行う事業。

丸山

「風越山を愛する会」：公民館の「ふるさと再発見」プロジェクトにおいて、飯田高校・風越高校・享保会等の関係者が集まり、風越山イラストマップを作成したことが契機となる。

地域の機関・団体を結びつける役割

山本

阿智高校との連携：公民館長・主事が、阿智高校に働きかけ、高校生の地区の行事への参加や、実習受け入れを実現。
キッズ山本大作戦：小学校からの呼びかけを受けて、地域の団体のコーディネート役を担う(例：音楽フェスタ等)。

上久堅

ふるさと自然体験：文化委員会等が、学校・PTA・地域団体(食改)・まちづくり委員会等を巻き込み、実行委員会を組織化。

丸山

公民館が橋渡しをして、「愛する会」や学校、「子供の森公園」が連携し、地域資源を活かした学習活動のネットワークを構築。

●地域自治組織の中での公民館の役割●

調査から見えてきた公民館の役割

人材育成

公民館はその活動(分館・専門委員会)を通して、**住民自治・団体自治双方の担い手や住民自治をめぐる関係性を豊富化**。

団体育成

公民館は、地域課題の学習を通し、**課題解決に取り組むサークルやグループを生み出す役割**を担う。これらのグループが、まちづくり委員会と継続的に連携する地域の関連団体ともなる。

関係形成

公民館は、**地域の機関(特に教育関係)や団体を結びつける役割**を担う。

地域自治組織の中での公民館の役割とは？

公民館は、住民の間や住民と市職員との間での立場の違いを超えた**水平的な関係性を豊富化すること**に役割を果たしている。

公民館が他の委員会と連携することにより、**まちづくり委員会がこの役割を維持・強化し、組織内外の関係性をより豊かなもの**にしていけるかがポイントに。

●地域自治組織の中での自治振興センターの役割●

行政内の垂直的な関係構築

自治振興センターは、地区公民館に比べて行政との間での垂直的な関係性が強い。このことを反映し、**地区における課題の把握や、課題の集約を行い、行政の関連部署へ伝達していく役割が重視される。**

山本

【課題の集約化とそれにもとづく行政への橋渡し】（杵原学校応援団に関し）**センター長が課題を集約し、行政各課への振り分けを行う。**

上久堅

【情報の蓄積とそれにもとづく課題解決のための資源連結】**センターにいる保健士の方と話をするなかで、「あそこのおじいちゃん、おばあちゃんが心配だ」といった話をすると、ケースワーカーに話をつなげてくれたりしている。地域の方が情報を入れてくれて、つながっている。**

まちづくり委員会の事務局としての役割

地区に関する課題の提起や、情報の収集・提供と関係性構築において、所長が少なくない役割を果たす。

上久堅

【地区に関する課題の提起】少子化対策の取り組みにおいて、**センター長からの問題提起が契機となる。（次頁参照）**

丸山

【情報収集とそれにもとづく関係性の構築】享保会とまちづくり委員会との関係は別に以前も悪かったわけではないが、今のセンター長は別格。**いろいろと回ってもらい、享保会の様子も見てもらっている。**

●(参考)上久堅まちづくり委員会の少子化対策の取組●

少子化対策の発端

発端は、自治会だよりにおける**自治振興センター長の問題提起**(上久堅の少子高齢化について、危機感を共有してほしい)に、当時の自治会長が衝撃を受けたことであった。

自治会における検討過程

自治会の定例会で取り組むことを決めた後、**少子化対策検討委員会**(若者8名を含め全区から委員選出)を設置。提言された6項目のうち、**最重要項目として少子化対策**が位置づけられた。

少子化対策の具体化

- 延長保育の未実施や児童クラブの未設置⇒**園児預かり事業を併設**した上久堅児童クラブへ
- 「地域の子どもは地域で育てたい」という想いを持った、当時の自治会役員有志による**祝い金制度**の提案⇒子育て支援の会へ

● 「橋渡し組織」としての自治振興センターの役割 ●

